

# 高圧ガス製造設備保安検査点検表(液石則第8条関係・オートガススタンド)

## 1. 事業所概要

事業所名称															
事業所所在地		〒													
許可年月日・番号		年		月		日		第		号					
処理能力		Nm <sup>3</sup> / 日													
製 造 設 備	貯 槽	容量・焼とん	No.1		t		No.2		t		No.3		t		
			有		・ 無		有		・ 無		有		・ 無		
	処 理 設 備	開放検査	年		月		日		年		月		日		
		名 称													
		処理能力	Nm <sup>3</sup> / 日				Nm <sup>3</sup> / 日				Nm <sup>3</sup> / 日				
		開放検査	年		月		日		年		月		日		
保安検査		年		月		日		氏名		印		氏名		印	
協会指導		年		月		日		氏名		印		氏名		印	
立会者		保安検査		氏名		印		協会指導		氏名		印			

## 2. 記録簿

危害予防規程	S・H・R 年 月 日 認 可 ・ 届 出 有 ・ 無						
保安教育計画	保安教育計画書	S・H・R 年 月 日 有 ・ 無					
	今年度の策定状況	有 ・ 無 適 ・ 否					
定期自主検査	自 年 月 日 実施者 至 年 月 日						
申請書類等の整備	適 ・ 否		日常点検		適 ・ 否		
基準類の整備状況	適 ・ 否		受払記録		適 ・ 否		
設備台帳補修記録	適 ・ 否		保安教育実施記録		有 ・ 無		
防災訓練実施記録	有 ・ 無		実 施 日		年 月 日		

## 3. 保安管理組織

保安監督者	氏名： 資格：
-------	------------

\* 「結果」欄以外は検査前に必ず記入しておくこと。

#### 4. 液化石油ガススタンドに係る技術基準(液石則第8条第1項関係)

##### (1) 製造設備等

検査項目	方 法	内 容	結 果	備 考
1. 境界線 警戒標	目 視	製造事業所 境界線の明示 : 有 : 無 警戒標の設置 : 有 : 無 ローリー停車位置 停車位置の明示 : 有 ・ 無 警戒標の設置 : 有 ・ 無	適  不適	第6条第1項第1号  例示基準1
2. 設備距離	計 測 目 視	第1種設備距離 : 法定 m、実測 m 第2種設備距離 : 法定 m、実測 m	適 不適	第6条第1項第2号
3. 障 壁 4. 距離の 緩 和	目 視 試 験 記 録	障 壁 : 高 さ m × 厚さ cm 水噴霧装置 : 毎分 7 L/m <sup>2</sup> L/m <sup>2</sup>	適 不適	第6条第1項第3号 第6条第1項第4号 例示基準2, 3
5. 埋設貯槽 6. 腐食防止 措 置	目 視 計 測 記 録	方 法 : 乾燥砂 ・ 水没 ・ 強制換気 強制換気の場合 表示灯 : 有 ・ 無 保安電力 : 有 ・ 無	適 不適	第6条第1項第5号 第6条第1項第6号  例示基準4,5,6,7
7. 火気取扱 施設との距離	計 測 目 視	法定距離 : 8 m 実測 m 流動防止装置 : 有 ・ 無 流動防止装置の種類 : ( )	適 不適	第6条第1項第7号  例示基準8
8. 貯 槽 間 距 離	計 測 目 視 試 験	1 m又は最大直径の和の1/4以上のいずれか大 法 定 : m 実測 m 水噴霧装置 : 毎分 7 L/m <sup>2</sup> L/m <sup>2</sup> 操作位置 : 法定 15m 実測 m	適 不適	第6条第1項第8号  例示基準3
9. 貯 槽 の 表 示	目 視	「L P ガス」の朱書き : 有 ・ 無 埋設貯槽の標識の掲示 : 有 ・ 無	適 不適	第6条第1項第9号 例示基準9
12. 滞留防止 措 置	目 視 記 録	2方向以上の開口部又は換気装置 有 ・ 無	適 不適	第6条第1項第12号 例示基準11
13. 気密構造 18. 気密試験	試 験 目 視	製造設備は常用以上の圧で漏えいしない。 試験圧力 : MPa 使用ガス名 :	適 不適	第6条第1項第13号 第6条第1項第18号 例示基準15
14. 材料規制	記 録	安全な化学的成分及び機械的性質を有するものであること	適 不適	第6条第1項第14号 例示基準12
15. 基 礎 の 緊 結	目 視 記 録	貯槽(1 t 以上)の支柱は同一の基礎に緊結すること。	適 不適	第6条第1項第15号 例示基準13
16. 不同沈下	計 測 記 録	毎年1回以上測定し、その記録を保管する。 計測年月日 : 年 月 日	適 不適	第6条第1項第16号 告示第10条
17. 耐圧試験	記 録	製造設備は常用圧力の1.5倍以上の圧で漏えいしない。 試験圧力 : MPa 高压ガス設備の開放検査の結果 : 適 ・ 否	適 不適	第6条第1項第17号  例示基準15

検査項目	方 法	内 容	結 果	備 考
19．肉厚計測	計 測 記 録	記録の保存：有・無 計測年月日：年 月 日	適 不 適	第6条第1項第19号 例示基準16
20．耐震構造	目 視 記 録	地震の影響に対し安全な構造とすること。	適 不 適	第6条第1項第20号 耐震告示
21．圧 力 計	目 視 記 録	比較テストを行い、記録を保管すること。 最高最低圧力の表示：有・無 有効年月日の表示：有・無 試験年月日：年 月 日	適 不 適	第6条第1項第21号 告示第7条 例示基準17
22．安全装置	試 験 記 録	安全弁等の作動テストを行い、記録を保管すること。 吹始圧：設定圧力の90%以上100%以下 吹止圧：設定圧力の80%以上	適 不 適	第6条第1項第21号 告示第7条の2 例示基準17
23．放 出 管	目 視	貯槽に設置：地盤面5m又は貯槽頂部2m以上 その他の高圧ガス設備：建築物、工作物以上 開口部レインキャップ：有・無 開口部付近の着火源：有・無	適 不 適	第6条第1項第22号 例示基準18
25．貯 槽 液 面 計	目 視	液面計の型式：（ ） 90%の表示：有・無 自動及び手動止め弁：有・無	適 不 適	第6条第1項第24号 例示基準20
26．貯槽配管 のバルブ	目 視	緊急遮断弁以外の貯槽配管に設けたバルブ 2以上のバルブ：有・無 貯槽直近弁：有・無	適 不 適	第6条第1項第25号 例示基準21
27．緊急遮断 装 置 (5,000 以上)	目 視 試 験	操作機能：空気式・油圧式 操作位置：事務所・従業員控室等及び （ ）2力所以上 貯槽より：5 m m 作動時間：10秒 秒 月例点検：有・無 受入配管：逆止弁・緊急遮断弁	適 不 適	第6条第1項第26号 例示基準22
28．電気設備	目 視 記 録	防爆性能が適切であるか	適 不 適	第6条第1項第27号
32．冷却設備 及 び 防火設備	目 視 試 験 記 録	水源の保有量：必要量 m <sup>3</sup> 実測 m <sup>3</sup> 散水量：適・不適 操作位置：事務所・従業員控室等及び （ ）2力所以上 貯槽より：15m 実測 m 月例点検：有・無	適 不 適	第6条第1項第28号 第6条第1項第31号 例示基準23,26
30．ガス漏洩 検知警報 装 置	試 験 記 録	個 数：点 月例点検記録：有・無 作動状況：テストガス 濃度 % 応答時間：30秒 秒～ 秒 外部発報：有・無	適 不 適	第6条第1項第29号 例示基準24
31．静電気の 除去措置	目 視 試 験	接地抵抗値：貯 槽 ローリー 総 合 100 ボンディング：有・無 損傷の有無、接続の状況：適・否	適 不 適	第6条第1項第30号 例示基準25

検査項目	方 法	内 容	結 果	備 考
32. 防 消 火 設 備	目 視 記 録	消火器の設置個数 : 個 定期点検 : 有 ・ 無 消火栓設置 : 有( 個) ・ 無	適 不 適	第 6 条第 1 項第31号 例示基準26
33. 保安電力	目 視 試 験 記 録	保安電力の種類 : ( ) 定期検査記録 : 有 ・ 無	適 不 適	第 6 条第 1 項第32号 例示基準27
34. 通報設備	目 視 試 験	通報設備の種類 : ( ) 通報設備の作動状況 : 適 ・ 否	適 不 適	第 6 条第 1 項第33号 例示基準28
35. バルブ等 誤 操 作 防止措置	目 視	バルブの開閉方向の明示 : 適 ・ 否 流体の種類、芳香の明示 : 適 ・ 否 安全弁元バルブの封印等 : 適 ・ 否 適切な足場、照度の確保 : 適 ・ 否	適 不 適	第 6 条第 1 項第34号 例示基準29
	目 視	貯槽への充填は90%以内とすること。	適・不適	第6条第2項第1号の口
	目 視	車止めの有無 : 有 ・ 無 (車両に固定した容器の内容積4,000 以上)	適・不適	第6条第2項第1号のハ

(2) 容器置場 (面積:  $m^2$ )

検査項目	方 法	内 容	結 果	備 考 (第6条)
36. 警 戒 標	目 視	範囲の明示 : 有 : 無 警戒標の設置 : 有 : 無	適 不 適	第 1 項第35号のイ 例示基準1
37. 置場距離	計 測 目 視	第 1 種置場距離 : 法定 m、実測 m 第 2 種置場距離 : 法定 m、実測 m	適 不 適	第 1 項第35号のハ
38. 障 壁	目 視	有 ・ 無 (高さ cm × 厚さ cm)	適 不 適	第 1 項第35号のニ 例示基準 2
39. 屋 根	目 視	充てん容器置き場の屋根は、不燃性又は難燃性で軽量であること。	適 不 適	第 1 項第35号のホ 例示基準30
40. 滞留防止 措 置	目 視	2 方向以上の開口部があること。	適 不 適	第 1 項第35号のヘ 例示基準11
41. 消火設備	目 視 記 録	設置個数 : 個、定期点検 適 ・ 否 (最小B-10消火器 2 個以上、10tにつき 1 個以上)	適 不 適	第 1 項第35号のチ 例示基準26
参 考		充填容器と残ガス容器の区分 : 有 ・ 無 整理整頓(不要なものの有無) : 有 ・ 無 2 m以内の引火性、発火性、火気等 : 有 ・ 無 温度計の有無 : 有 ・ 無 転倒、転落防止措置 : 有 ・ 無 作業心得 : 有 ・ 無		第 2 項第 7 号 のイ 口 ハ ニ ホ  例示基準40,41

(3) ディスペンサー等

検査項目	方 法	内 容	結 果	備 考
2．設備距離 (ディスペンサー)	測 定 目 視	公 道 ： 法定 5 m 実測 m (平成9年度以降に設置されたものに限る。)	適 不 適	第8条第1項第2号
4．停止装置 及び漏洩防 止措置	目 視	・ディスペンサーの充てん終了時のガスの停止装置 ・充てんホースからの漏えい防止措置 (平成11年10月1日以降に設置されたものに限る。)	適 不 適	第8条第1項第4号
5．防護さく	目 視 測 定	車と貯槽との距離 ： 法定 3 m 実測 m 防護さく ： 有 ・ 無	適 不 適	第8条第1項第5号
参 考		ディスペンサー 製作所： W 台 、 S 台 セーフティカップリング ： 有 ・ 無		

## 5. 気密試験結果

漏 洩 : 有 ・ 無	処 置 : 済 ・ 否 ( 処置者 : )
漏洩箇所 :	

## 6. 指示、指導事項

[illegible]